西馬譚
三編上
浮世絵月春画

弓勢名譽畫
長崎人
秀郎

弓張月

春廼榮

三編
上之巻

西馬譯
國輝画

浩文堂

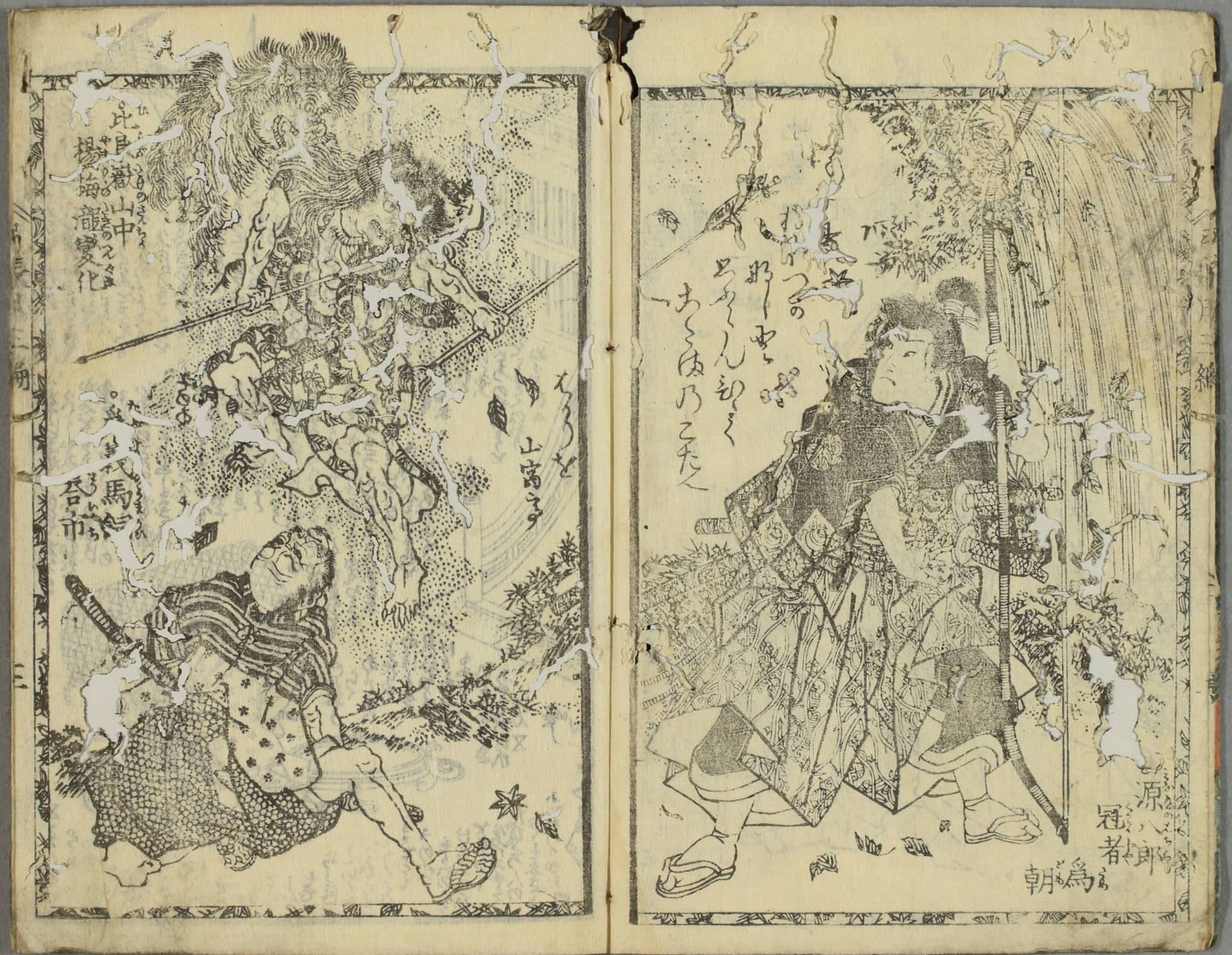
三編 壹

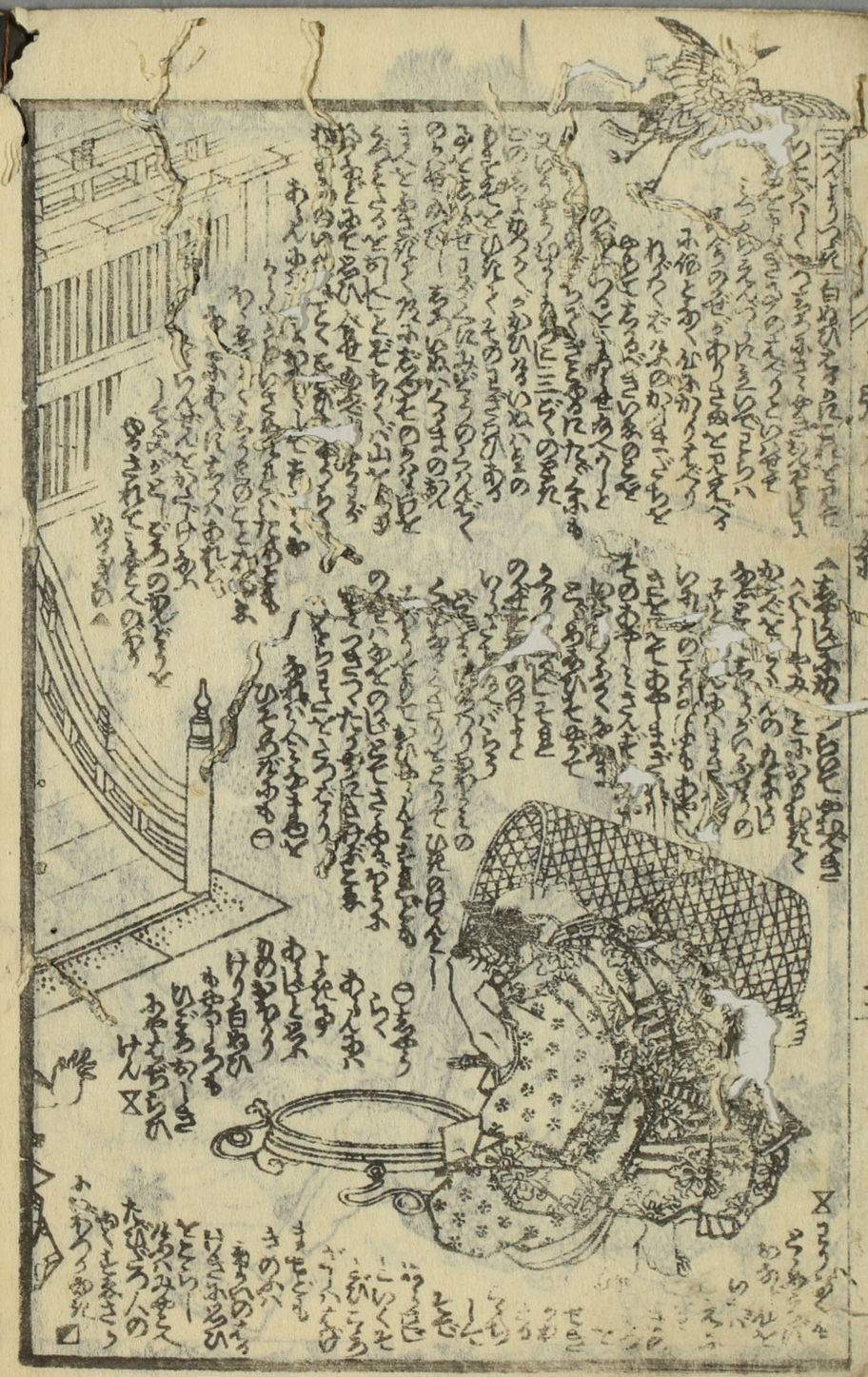
經の如是我聞小說乃詰解むのくゆくさきハ四国と廻る榎蟹の
殘りて倘旦の御時今ハ昔扨も其後去程に掃史お敷語の紋切形ふ
て、測場の真れ時迚く此ハどもの後ちけるゆる趣向と見ぬ先ハ不知ぞりあさ
根ゆ臣ゆ臣ゆ臣ゆ臣ゆ臣ゆ臣ゆ人藝仕掛と直さる手品の種本者官に習ふ
ぶ當様の如く〳〵當世ふれ書賣ぶゆ〳〵ぬ望僕等ぶ二百三孔の漬込
嗜ふ味のゆる古事竜乃功の者書やくと催促に華れ南丁執の
組刻人で出る乃編三編夜い茶づけ口ふ合ひ碧り好帽の三倍目
今生ふ嘘ふ張月横ふ文字ふ言の演條其ふ白湯ふ弓明方の口繪し半張まぐ覺

嘉永五壬子歟夏稿成
四歳次壬子春葉市

柴屋百鳥題

阿曽二郎
忠国
為朝の室
遊姫
心納言入道
信西
地驚叡山
信西死
馬悪衣香
欲噛人
六條大宮源為義


源八郎
冠者
朝爲
比良嶽山中
馬
吾市



判官爲義

四郎頼賢

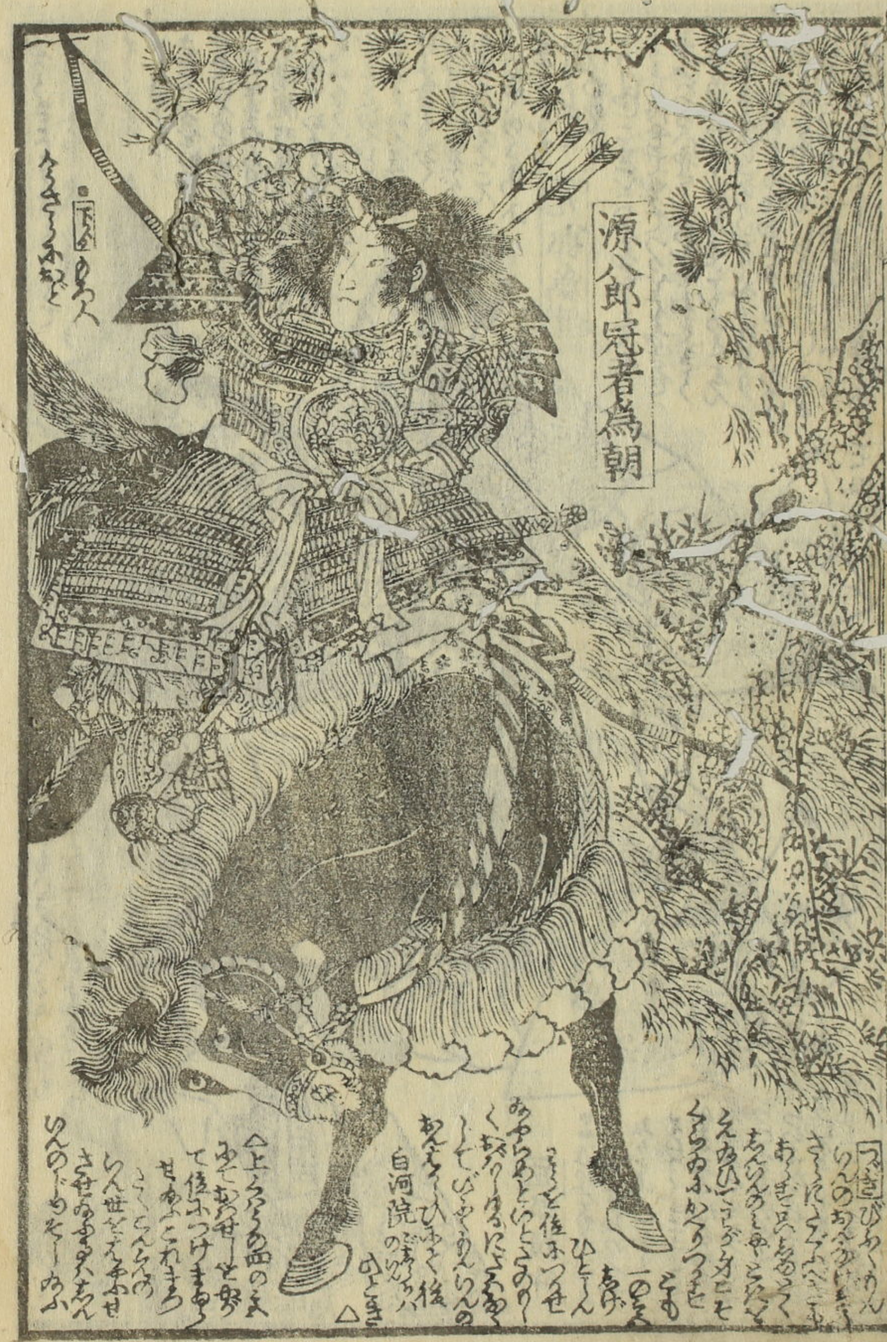
七郎爲成

六郎爲宗

九郎爲仲

八郎爲朝

五郎頼仲


源八郎冠者爲朝

八町礫紀平次太夫

阿曽忠国
吉田兵衛

白ぬひ
高間四郎

高田四郎

吉田五八郎
忠国

八代
白ねづみ

野風

八代

百ぬひ

國輝画　西馬撰譯

其由縁鄙俤　笠亭仙果著作　梅蝶樓國貞画

十勇士尼子の残孽　三編　為永春水作　四編　壽齋國貞画

雨夜鐘四谷雜談　五編　河竹其水作　六編　歌川國貞画

錦耳蔵　板略目録

比奈乃都大内譚　初編　笠亭仙果作　二編　一勇齋國芳画

地本繪草紙問屋　江戸とりあり町　恵比壽屋庄七板